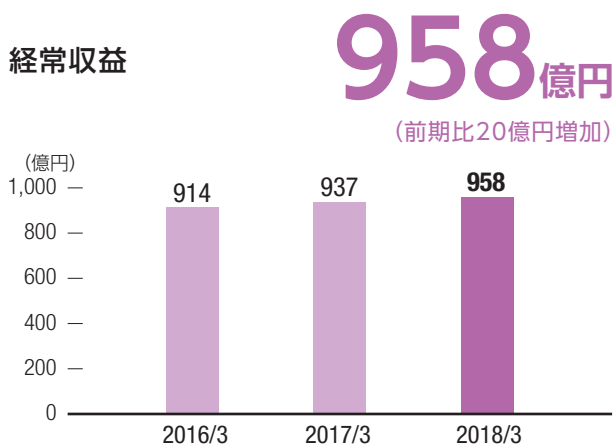


# 財務ハイライト

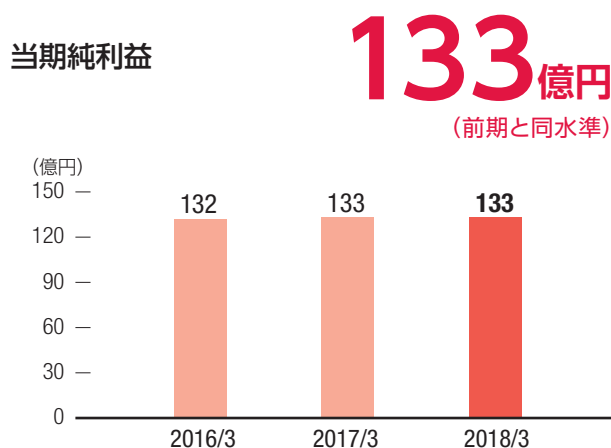
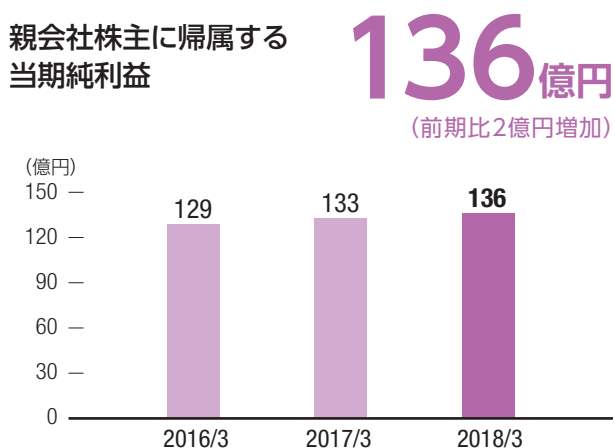
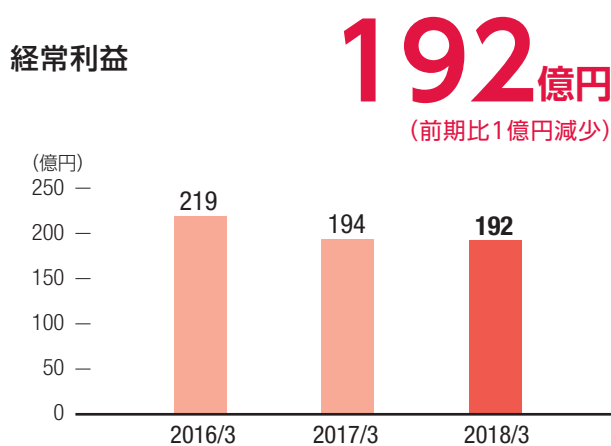
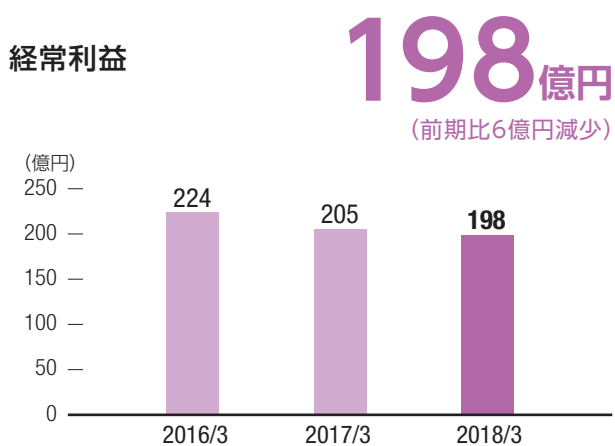
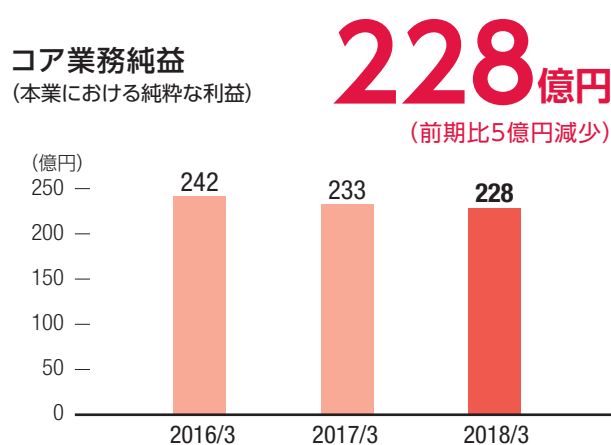
## 2017年度 決算の ポイント (連結)

- 金融機関を取り巻く環境が厳しいなか、事業支援活動やコンサルティング営業に注力するほか、グループ連携の強化を掲げ、お客様のニーズにグループの総力を結集して対応することでグループ全体の収益拡大を図りました。
- その結果、「親会社株主に帰属する当期純利益」は、ごうぎん証券の黒字化に加え、連結子会社の出資比率を高めた効果が1年を通して寄与したことなどから、136億円と前期比2億円の増益となり、過去最高益をあげることができました。

### 利益の状況(連結)



### 利益の状況(単体)

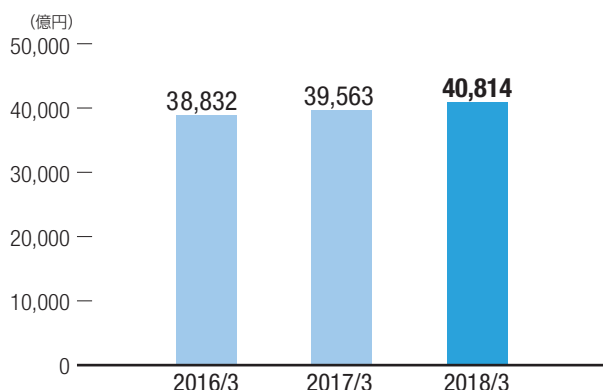


## 主要勘定の状況(単体)

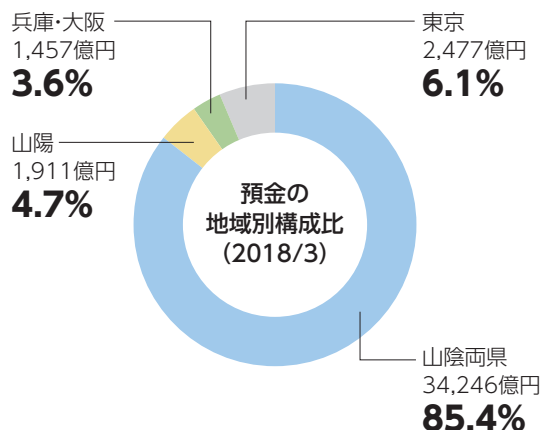
預金等※(期末残高) ※預金+譲渡性預金

# 4兆814億円

(前期末比1,250億円増加)



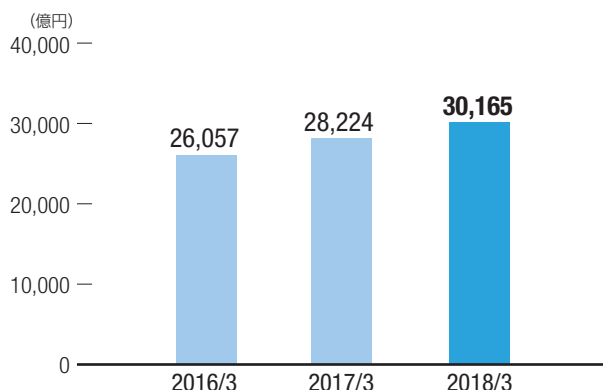
金融機関預金は減少しましたが、個人預金および法人預金、譲渡性預金が引き続き順調に推移したほか、公金預金が増加した結果、前期末比1,250億円増加の4兆814億円となりました。



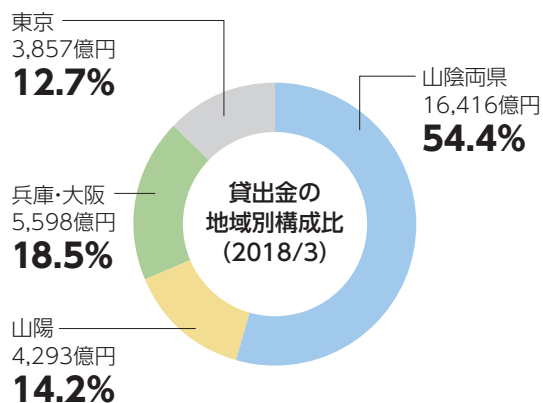
貸出金(期末残高)

# 3兆165億円

(前期末比1,940億円増加)



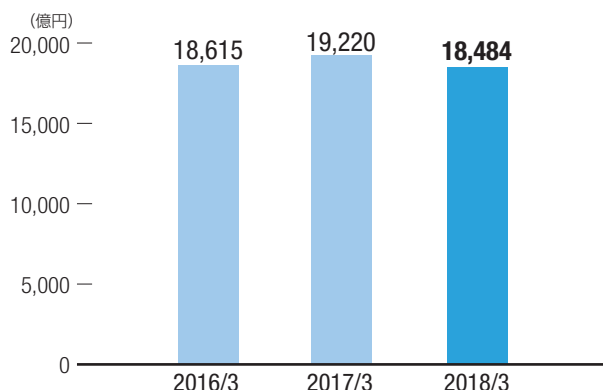
山陰両県を中心に住宅ローンなどの個人向け貸出が増加したほか、法人向け貸出も山陰両県、県外店ともに増加したことなどから、前期末比1,940億円増加の3兆165億円となりました。



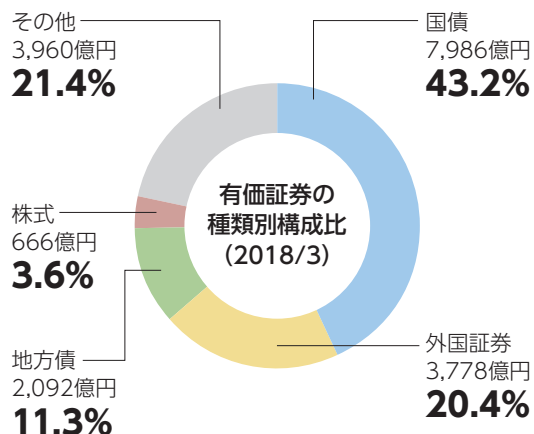
有価証券(期末残高)

# 1兆8,484億円

(前期末比735億円減少)



日本国債への再投資が難しいなか、市場動向や投資環境を踏まえて、外国証券や投資信託等への投資を行った結果、前期末比735億円減少の1兆8,484億円となりました。



# 財務ハイライト

## 安全性・健全性の状況

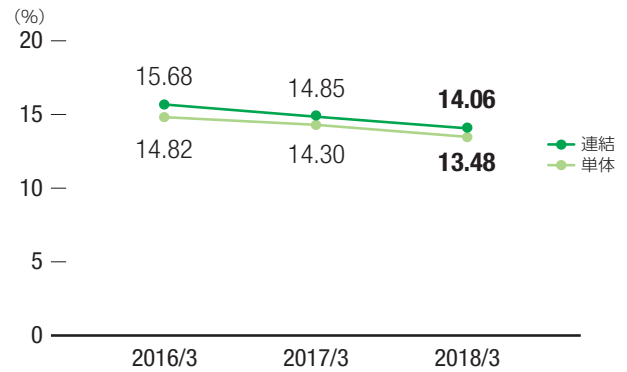
### 自己資本比率

単体ベース  
(国内基準)

13.48%

#### ●自己資本比率

銀行の健全性を測る代表的な指標の一つです。国内基準行は4%以上を維持することが求められています。



### 格付(単体): 格付機関から安全性に高い評価

**A2**

(長期預金格付)

ムーディーズ・ジャパン(株) (Moody's)

**A+**

(発行体格付)

(株)格付投資情報センター(R&I)

**AA-**

(長期発行体格付)

(株)日本格付研究所(JCR)

当行はムーディーズ・ジャパン(株) (Moody's) から長期預金格付「A2」を、(株)格付投資情報センター(R&I) から発行体格付「A+」を、(株)日本格付研究所(JCR) から長期発行体格付「AA-」の高い格付をそれぞれ取得しています。

#### ●格付

企業の信用度や安全性を示す代表的な指標で、預金や債券などの元利金が約定どおりに支払われるかどうかを公正な第三者機関が客観的に評価し、その程度を簡単な記号で表したものです。